

5 2011年
月号

No. 912

やまとながだ

広報誌



どれを買おうか迷っています (3月20日)

INDEX

特集 ●● 救援活動から もどりました

定例市議会.....	● 5 ~ 6
保育所ひろば.....	● 7
人権シリーズ.....	● 9
いっしょに伸びよう 高田っ子	● 10
リニューアルしました! ホームページ.....	● 11
引き続き支給されます 子ども手当.....	● 11



救援活動からもどりました

報告！ 東日本大震災被災地

3月11日、午後2時46分ごろ東北地方・関東太平洋沿岸をおそった地震と津波は、私たちがかつて経験したことのない様々な災害をもたらし、今もまだ復興と言うにはほど遠い状況です。

大和高田市から現地へ派遣した職員から、被災地の状況を聞きました。

これからも、まだまだ長い支援を

下水道課・水道工務課

3月16日 午前9時奈良市を出発し、岩手県盛岡市に入りました。給水事業を支援する関西支部が置かれている新庄浄水場で指示を受け、大船渡市へ向かいました。しかし、大船渡市では全体の状況把握が終わっていないだったので、指示で陸前高田市へ行きました。



浦野学 課長補佐（3月現在）

宿泊所から、ふた山越えて、陸前高田市に入ります。街は、テレビで見ていた風景そのままでした。山からすぐ海で、山の上の方にも押し流されてきた物があり、津波の威力に驚きました。山には雪が積もり、運転にはとても気を使いました。電話も電気も通じていないので、連絡事項があっても、誰かに会わないと伝えることができません。少しでも効率よく作業をしたいと思い、打ち合わせを重ねました。災害対策本部は、給食センターに置かれていました。ひと山越えた墨田町の水道場で、給水車に水を入れます。それを、広田町の避難所になっている公民館や集会場、中学校などへ届けに

まわりました。飲料用以外は、雪を溶かしたり、小川の水を使い、洗いや物などをしているようでした。避難物資も届かず、自分たちで食糧調達している所もありました。被災を免れた個人の家で、共同生活している所もありました。

給水ポイントの表示場所に給水車を止め、マイクで呼びかけると、そこへ人が集まってきました。若い人たちは消防団等で活動していて、ほとんどが高齢者です。でもとても力強く、水の入った重い入れ物を一輪車で運んでいきます。手伝おうとしたら「大丈夫」

と。わがままを言う人もなく、誰かを手伝っていても、「私はできるから、あの人手伝ってあげて」

と言われます。気が張っているからかもしれないが、みんな明るく一生懸命で、前向きです。少しでも笑ってもらえたらと、関西弁で給水に来たことをマイクで知らせたら、

「関西弁は 優しいから好き」「おおきに」



島津元一 係長

と言ってくれました。みんなで薄く切って分け合ったりを「たべて」

と分けてくれたり、「ご苦労さん」

と、缶コーヒーもいただきました。

4日間こんな毎日でしたが、疲れたとは一度も思いませんでした。寒さも感じませんでした。もっとここで給水作業をしたいと思いながら、帰ってきました。（帰ってきて、どつと疲れを感じましたが）

今回の派遣で、災害が起こったときは、まず街全体の状況を把握してから、動き始めることが大切だと感じました。また、神戸の震災時にも給水作業に出かけましたが、陸前高田は街への進入路も限られていて、復興への道のりは、長いと感じました。水についてだけでも、これから、まだまだ派遣は必要だと思います。機会があれば、また出かけたいと思います。

医療の現場から見た、被災地の姿

市立病院

3月31日から4月4日まで、宮城県気仙沼市で医療救護活動をおこないました。大和高田市立病院からの医師・看護師それぞれ2名、理学療法士1名、薬剤師1名、奈良県立医科大学附属病院の医師1名、県の事務員1名の編成で、被災地を訪れました。

気仙沼市は、津波により大きな被害を受けた地域ですが、岩手県の花巻空港から現地へ向かう内陸部では、それほど大きな被害は見られませんでした。しかし、トンネルを一つ抜けた先に広がっていたのは、津波に押し流された家屋が折り重なる、すさまじい光景でした。

今回の地震では、津波が来たかどうかで、各地域の被害状況が全く異



高幣和郎 消化器内科部長

なっていました。壊れた建物などなく、どこにでもあるような普通の街並みだと思っても、道を一本隔てれば、壊滅的な状態になっているような地域もあります。



現地に着いてすぐに、避難所の中学校を拠点に活動を始めました。避難所の印象は、「暗くて寒い」。電気がまだ復旧していないため、夕方になれば辺りは真っ暗です。暖房器具が石油ストーブしか使えない避難所はとても厳しい寒さでした。

避難所には、約190名の人たち

が避難していました。その中には看護師も3名いて、自分自身が被災しているにも関わらず、中心となって衛生管理などにあたってくれました。その甲斐もあって、避難所で大きな病気にかかる人がほとんどいなかったことは、幸いなことでした。

身体の病気だけではなく、精神的なサポートが必要な人もたくさんいました。家族が行方不明で、夜眠れ

なくなったり。行方不明者の捜索中に遺体を発見し、落ち込んでいる人。集団での生活にうまくなじめず、疲れを感じる人。私たちの避難所には、北海道から「心のケア」のためのチームが来ており、対応にあたってくれていました。

気仙沼市では市立病院が業務を再開していて、市立病院の医師を中心に、比較的統制のとれた支援体制が





写真上：高幣医師が所属した奈良県の救護チーム



写真左：気仙沼市で開かれた会議の様子。全国から、支援スタッフが駆けつけました。

写真左下：中学校の給食センターに設置された診療所を拠点に、救護活動をおこないました。

確立されていたと思います。しかし、避難所によって環境に差があったり、同じ避難所内でも、避難している階によって差があるような所もありました。また、避難所に入らず壊れた家で生活を続けている人もいて、そのような人たちに支援が届かないような状況も見られました。復興に向けて、まだまだ解決すべき課題があるように思います。

奈良県からの派遣チームが被災地を訪れていますが、診療所を訪れる人の数は減少する傾向にあります。今後、被災地で必要とされるのは、怪我や病気の治療だけでなく、長引く避難生活の中でも健康を維持できるような体制作りだと思います。介護職や看護師、保健師などの重要性がより高くなることが予想されますし、電気をはじめとするライフラインの復旧も急務です。少しずつ、被災地で求められている支援の内容が、変わりつつあるように感じます。

陸前高田市へ 救援物資を届けました



大和高田市では、3月25日より、大和高田商工会議所を通じて、会員企業や市内商店街（商業組合）へ救援物資の提供をお願いしました。

4月1日までに、肌着や靴下、衣服、運動靴、トイレットペーパー等、段ボール740箱が集まりました。

物資は、4月6日奈良県トラック協会高田支部の協力を得て、陸前高田市へ出発、7日陸前高田市学校給食センターへ到着しました。



4月7日午前10時
熊谷財政課長に 吉田市長からの親書を渡しました。熊谷課長は、次のように話しました。

「お陰様で、多くの救援物資を届けていただきました。多くの人材を失い、行政の人手も少なく、物資を配布する人手が足りません。お言葉に甘えさせていただけるなら、今後仮設住宅ができたとき、物資を入れて渡すための衣装ケースがあれば、とても助かります」



今までに見たことのない風景が

中和広域消防組合 高田消防署

緊急消防援助隊奈良県隊第2次・3次隊として、福島県境の宮城県山元町で救援活動を実施しました。

現場は、阪神淡路大震災など、今までに経験した地震災害の光景とはまったく違っていました。津波に押し流され、建物などは跡形もなく、基礎だけが残り、海から2キロメートルほどの山ざわや、盛り土の高速道路などで、かろうじて流されてきた物が止まっている状態でした。家は廃材のようになり、残っているも屋根の部分のみです。

私たちは、山元町立山下中学校グラウンドを活動拠点に、搜索・救助活動をおこないました。とても残念ですが、生存者を救助することは



井戸上浩晃 警防第2係長(救助隊長)



高島工 当直長(救急救命士)
(現・消防本部救急課主幹)

きませんでした。しかし、一人でも多くの人を、がれきや車の中から救出し、家族に返してあげたいという思いで、活動しました。そんななかでも、家のあった場所にもどってきた人たちは、私たちに「ごろうさまです」

と、気丈にも声をかけてくださり、身につまされる思いでした。

また、地元の消防も被害を受け、消防機能が低下しているため、避難所から病院への急病人の搬送や消火活動にも併せて従事しました。

大和高田市に津波が来ることはありませんが、今回の災害から、水害への対応について学ぶことは、多いと思います。また、今回の災害を受けて、地震災害への対応を、改めて検討する機会であると感じました。

「東北地方太平洋沖地震」 大和高田市災害義援金について

大和高田市長 吉田 誠 克

大和高田市において、3月15日から「東北地方太平洋沖地震」に対する災害義援金を募りましたところ、下記のとおり、多額の義援金をお寄せいただき心より感謝申し上げます。引き続き募集をしていますが、少しでも早く被災地域に届くよう、現時点における義援金の一部を、日本赤十字社奈良県支部へ届けました。

平成 23 年 4 月 12 日時点の災害義援金額
金 21,672,305 円

◎平成 23 年 3 月 28 日

社会福祉法人

日本赤十字社奈良県支部への送金額
金 11,000,000 円

◎平成 23 年 4 月 13 日

奈良県共同募金会への送金額
金 5,000,000 円

岩手県陸前高田市への送金額
金 5,000,000 円

※この残金を含め、今後お寄せいただいた義援金は、一定程度まとまり次第、各送金先へ届けます。

7日午前11時

竹駒小学校で 物資をおろす



作業をしているのは、ボランティアの高校生です。



避難所になっている市立第1中学校

232億5、000万円など可決

平成23年3月定例市議会は、3月3日から16日までの14日間開催されました。平成23年度予算は、年度当初に市長及び市議会議員選挙が控えているため、骨格予算となりました。

本定例会には、平成23年度一般会計予算ほか、特別会計予算7件、企業会計予算2件、平成22年度補正予算7件、条例案件10件、工事にかかる請負契約の締結について4件、訴訟の提起1件、指定管理者の指定2件、「国民健康保険税の引き下げに関する請願」1件、「大和高田市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について」1件、及び、意見書の提出が2件の計38議案が提出され、請願については不採択、それ以外は、それぞれ原案可決されました。

本号では、15日及び16日に行われた一般質問の二部について、お知らせします。



一般質問

防災対策について

市政会 西村議員

答 災害発生時における地域住民の初期活動が、被害を軽減するうえで、大切な役割を担っている。地域の防災力の向上のためには、地域防災を担う人材の育成が不可欠である。新年度において、防災についての専門的な知識・技術等を有した人材を新たに配置し、既設の自主防災組織への指導はもとより、新たに

（仮称）法令遵守推進
条例（コンプライアンス

（条例）の制定について

市 政 会 平 郡 議 員

答 「法令遵守」とは、たんに法令さえ守つていればよいというものではなく、公務員として法令の目的を理解した上で、市民・社会からの要請にどうこたえるかを考え、行動することであると考えている。健全な組織運営を行っているためにも、行政運営方針として、法令遵守推進体制を確立するための仕組みを自治体の最高規範である条例とい

う形で、表明していきたい。

地域の居場所づくり推進事業について

市 政 会 奥 本 議 員

答

地域の居場所づくり推進事業は、高齢者が住みな

れた地域で生きがいを持って元気に過ごせるよう、気軽に集い利用できる場所づくりを支援することを目的としている。介護予防教室やデイサービス等に利用している公共施設7か所を当初予算で事業対象とした。公共施設での開催頻度については、市の事業で行う以外は、住民の自主性によるものであることから、場所によって頻度は違っており、居場所の実情に合わせて開

片塩小学校生の中学進学について

市政会 植田議員

答 現在の中学校校区編成

では、片塩小学校区域の一部地域で中学校進学にあたり、片塩中学校と高田中学校に分かれて入学している。片塩中学校は平成22年度、生徒数約1,000名で、県下でも有数のマンモス校となっているが、少子化の流れの中で、今後の校区のあり方については、小学校区のあり方も含め、市全体の校区のバランス、生徒数等を勘案しながら、市全体

問

がん対策・がん予防の
充実について

公明党 友田議員

子宮頸がん・ヒブ・肺炎球菌
ワクチン公費助成について

答

答 子宮頸がん・ヒブ・肺炎球菌ワクチンは現在、任意接種となっている。ワクチンの接種年齢は、子宮頸がんワクチンは中学1年生から中学

3年生の女子に、ヒブ並びに肺炎球菌ワクチンは、0歳から4歳の乳幼児が接種対象となっている。接種費用は、子宮頸がんワクチン1,500円・ヒブワクチン800円・肺炎球菌ワクチン1,100円の自己負担、生活保護世帯については、無料としている。高齢者の肺炎球菌ワクチン助成事業については、先の3種ワクチン接種事業の実施状況や効果を検証し、公費助成について検討するとともに、万が一の健康被害を救済するためにも、国が責任をもつて実施する「定期接種化」を要望していきたい。

問 地域開発、市街化区域の拡大について

公明党 上田議員

答 奈良県では、平成20年度より大和都市計画区域の都市計画変更手続きが進められており、本市でも、市街化調整区域から市街化区域への編入、用途地域の見直し等を進めている。中和幹線道路の完成と京奈和自動車道の整備が進むなか、これらの道路を活用して地域間の交流を高め、都市機能増強の促進、

地域経済の活性化など、その整備効果を発揮できるよう道路沿線の神楽・池尻地区8.7ヘクタールを準住居地域に、菅原地区の5.5ヘクタールを住居地域に編入するものである。今後、地域の特性を踏まえ、創意工夫をいかしたまちづくりの推進をめざしていきたい。

問 元気な街づくりについて
日本共産党 稲葉議員
サティ跡に立てられた高い塀の状況について

答

民間所有の土地建物であり、跡地利用については、明確な方向が示された場合、まちづくりのため、市としてできうるかぎりのことをしていきたい。一方、奈良県では「市まちづくり構想推進事業」を進めており、高田市駅周辺の賑わいを創出するまちづくりを、県の積極的な関与のもと、市の施策とともに民間活力をも活用して、車にたよらないで暮らせる高齢者にも優しい環境都市づくりをめざしている。

所有者は、管理上の問題から、塀をたてられた。この塀は高く白色であるため、絵などを描くことができないのか、

地権者になげかけてみたい。今後、サティ跡地の有効利用も含めて、市街地の活性化を取り戻すことができるように、まちづくりに二層努めていきたい。

◆提出された意見書◆

- 奈良社会保険病院の公的機関としての存続のため、公的存続法の早期成立を求める意見書
- 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める意見書

委員会 審査結果

総務財政委員会

平成22年度大和高田市一般会計補正予算（第6号）ほか、1議案

大和高田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正に

ついて、運用については適切に対応していただくよう要望等が添えられ、全会一致で原案どおり可決

民生文教委員会

平成22年度大和高田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）ほか、3議案

市立病院について、今後市民が安心して受診できるよう、医師の確保等、充実されたいとの要望等が添えられ、全会一致で原案どおり可決

環境建設委員会

平成22年度大和高田市住宅新築資金等貸付金特別会計補正予算（第2号）ほか、8議案

学校の耐震改修工事について、安全対策に努めていただきたいとの要望等が添えられ、全会一致で原案どおり可決

予算特別委員会の審査概要

平成23年度大和高田市一般会計予算 ほか、18議案

平成23年度一般会計及び

特別会計予算並びに企業会計予算を審査するため、予算特別委員会（委員7名）が設置され、各議案の審査が議場でおこなわれました。

新年度予算は、最重要課題と位置付ける財政健全化をさらに推進する予算であり、行財政改革への取組である「財政健全化プログラム」「IT推進中期計画」「土地開発公社経営健全化計画」「市立病院改革プラン」を着実に実行するための予算でした。

なお、採決の結果、賛成多数で原案どおり可決されました。





動が始まりました。なす、きゅうり・トマト・スイカの苗を植える

北保育所は、昭和48（1973）年に開所しました。平成9年から、午前7時30分～午後7時までの延長保育を始めました。近鉄高田駅にも近く、市外・県外に勤務する保護者の利用が多いです。

平成24年、仮称土庫こども園開園にあたり、今年度は土庫保育所と北保育所の合同保育が始まっています。お互いの保育所の良いところを出し合いながら、子どもの健やかな成長を願い、さまざまな体験や遊びをとおして、豊かな感性や創造性が育つよう、職員が一丸となり保育を進めています。

5歳児クラスでは、菜園活動が始まりました。



保育目標
心身ともに健やかで生き生きとあそぶ子どもを育てる

準備をしています。子どもたちは、「水やり、草取りもせなアカンな」と、今から意気込んでいます。

さまざまな生き物や、多くの美しい緑に触れることができる環境や、そこでの活動は、子どもたち二人の心の栄養となります。また、生命の大切さを育み、食べ物への関心も深まります。いろいろな発見と出会うことで、喜びや感動、感謝の気持ちがあふくよう育てていくことを願っています。

地域の子育て支援の役割を担い、「二時預かり事業」を実施しています。緊急時や短時間の保育が必要な人の利用が、年々増えていきます。また、世代間や地域交流では、いろいろな人とのふれ合いを楽しみます。園庭開放では、遊ぶだけではなく、保護者の悩みや子育て相談にも応じています。

園庭には、年長組の作ったこいのぼりがあがっています。小さいクラスの子どもたちも、毎日喜んで眺めています。



めざす子ども像

- 元氣な明るい子ども
- 心豊かな子ども
- なかよくあそべる子ども
- 考える子ども



* 鯖のパン粉焼き タルタルソース (4人分)

〈材料〉

☆鯖	4切
調理酒	大さじ1
小麦粉	30g
パン粉	60g
油	大さじ4

鯖は、魚偏に「春」と書く旬の魚です。鯖は出世魚で、サゴチ（50cmまで）→ヤナギ（50～60cm前後）→サワラ（それ以上）と成長します。※地方により呼び名は変わります。

身がしっかりして硬いもの、目が澄んで、体色（銀色）の光っているものを選びましょう。〔保育課〕

いただきまーす!! おいしい季節のレシピ

57



手作りのタルタルソースは格別です。

マヨネーズ	大さじ3
卵	2個
牛乳	大さじ1
パセリ	1枝
塩・コショウ	少々

〈エネルギー〉（1人分）

391キロカロリー
たんぱく質 16.2g
カルシウム 33mg

〈作り方〉

- 1 鯖に塩、コショウ少々、調理酒（分量外）少々をふって、5分程度おいてから水分をふきとる。パセリをみじん切りにし、水にさらす。
- 2 小麦粉に調理酒、水少々を入れ衣を作る。（固めにすると厚めの衣になります）
- 3 鯖に衣とパン粉をつける。
- 4 フライパンに油を熱し、焼き色がついたら鯖を返し、ふたをして弱火にし3～4分焼いて火を通す。
- 5 固ゆで卵を作り、みじん切りにする。マヨネーズ、牛乳、パセリを加えて混ぜ、塩、コショウで味を調える。
- 6 器に4を置き、タルタルソースを添える。



こんなことも

歯科医院にご相談ください

12回にわたって、歯の健康とさまざまな治療についてお話ししてきました。

今回は、意外と知られていない、歯科医院で相談できることについてお話しします。

■顎関節症

口を開けようとすると痛かったり、大きく開けられない、関節のあたりで音がする等の症状があれば、顎関節症が疑われます。軽いうちに、ご相談ください。

■いびき

いびきや睡眠時無呼吸を、

スリープスプリントというマウスピースのような器具で緩和、治療します。

■スポーツマウスピース

ボクシング、ラグビー、アイスホッケー等の、歯と口の保護用に限らない、オーダーメイドのマウスピースによって、咬み合わせが安定、強固になって、瞬間的な力が増幅されることは、東洋医学でも常識とされています。野球のバットイングやゴルフの飛距離等は、効果が実証されています。

■審美歯科

歯列矯正はもちろん、ホワイトニングや簡単なクリーニングも、美容室感覚で利用してください。

また口輪筋や表情筋等を刺激し、動かすことによって顔痩せ、たるみの防止、ひいては、認知症の予防の効果もある装具があります。

■ドライマウス

唾液腺疾患、更年期、内臓疾患、ストレス等によって、唾液が減少して、口腔乾燥を引き起こす病気です。歯周病や味覚異常、誤嚥性肺炎のリスクが高まります。口腔ケアから、薬物療法等がありますので、ご相談ください。

■往診

歯科も、内科と同じく往診が可能です。

通院が不能か、極めて困難な人に限ります。昨今は、医院でおこなうのとほぼ同等の治療ができる機材があります。かかりつけの歯科医院に、お申し出ください。



いつまでも お元気で



閉じこもりを 予防しましょう

閉じこもりは、家の外に出かけられる健康状態にあるにも関わらず、日々の行動範囲が家の中から庭先くらいで、週に1回程度も外出しない状態のことをいいます。昨年と比べて外出頻度が減少している場合は、要注意です。知らないうちに、閉じこもりになる可能性があります。

閉じこもりの生活は、筋力が低下して転倒したり、消化機能を低下させ低栄養の状態になったりと、不活発な生活で起る生活不活発病を招きます。放っておけば、寝たきりや認知症へとつながりかねません。たとえば、家業があり自宅が仕事場で、お店番をしている人は、お客様をはじめ、知人や友人との交流にも積極的なため、閉じこもりの心配はほとんどないかと思えます。しかし、活動範囲が狭くなりがちなので、体力低下が心配です。運動や体操をお

こない、栄養バランスに気を付け、体力の維持と向上を心がけてください。
外に出る楽しみを見つけましょう！

○空いた時間に散歩しよう
○食品や消耗品の買い物に、こまめに出かけ顔なじみになろう

○趣味のグループ活動や同好会で人との交流を

○地域の活動や催しなどに参加しよう

○地域社会に根ざした仕事、経験や知識をいかしたボランティア活動をしよう

*寝たきりや重度の介護が必要になった、高齢者の4人に1人は、特にけがや病気がないのに、徐々に生活機能が低下し、関節疾患や転倒・骨折につながってしまった人です。活動の低下は、心身の機能を全体的に低下させます。外出する喜びや楽しみをみつけ、張りのある生活を送ってください。

〔地域包括支援課内線5508〕

人権シリーズ 99

震災と人権
「頑張ってくださいー」から「共に頑張るまじゅうー」へ



3月11日、午後2時46分、東北地方を中心としたマグニチュード9.0の未曾有の大地震が発生しました。この約数十分後、6〜10メートル以上もの大津波が東北・関東地方の太平洋沿岸部に押し寄せ、多くの町も人も流されてしまいました。

この地震での被災者、犠牲者の人に対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、ご冥福をお祈りいたします。

さて、この約2か月間、国内はもとより世界各国より支援の輪が広がり、少しずつではありますが、復興に向けての活動が始まって

います。本市でも、義援金を受け付け、多くの市民皆さまにご支援をいただいています。ありがとうございます。

支援には、「経済的（物質的）支援」（お金、物資など）と、「活動的（人的）支援」（医療的支援、ボランティア活動など）があるそうです。これらの両方の支援が相まって、支援活動が進められていきます。ところが、私もよく言うのですが、「頑張ってください」という言葉をよく耳にします。

確かに激励の意味を込めて言っているわけで、不適切な言葉ではないとは思いますが、しかしながら、今回の

被災者のなかには、「これ以上、何を頑張れというのか」という気持ちの人もいらっしゃるのではないのでしょうか。

私は、常々「共に生きる社会の創造」を提起してきました。「共に生きる社会」とは、全ての人々の人権が守られてこそ、できあがっていくものだと考えます。

今、被災者そうでない人が共に頑張っていくことこそ、真の未来ある社会づくりだと思っています。

こんなことから、どんな小さな支援であっても、共に社会を創りあげていくといった思いがそこに込められていれば、必ずやいつか実を結ぶと思っています。

「頑張ってくださいー」から「共に頑張るまじゅうー」へ。

「人権施策課」



消費生活

センターから

「必ず儲かる」？ 競馬情報

相談事例

昨年12月、携帯電話に着信があり、「有力な競馬情報がある。この情報があれば必ず儲かるので、100万円で購入しないか」と言われた。その話は断ったが、後日、別の業者から「競馬情報を探している。有力な情報があれば、高く買い取る」と電話があった。競馬は好きなので情報には興味があるし、高く買い取ってくれるなら

と思って契約したが、結局情報はもらえず、情報がないので買い取ってもらうこともできない。解約したい。

△70歳 男性

支払金額 50万円V

☆複数の相談事例を元に、一般的な相談として構成したものです。特定の相談事例を示すものではありません。

「劇場型」と、「競馬情報」

今回の事例は、全国的にも相談の多い、次の2つの側面を持っています。

一つは「劇場型」であることで、ある業者が商品などを販売したいと勧誘してきた直後、別の業者が、それを買い取りたいと連絡してくるパターンです。高く買い取ってくれると思って商品などを購入したところ、買取業者とは連絡がとれなくなる、という事例が多く報告されています。

もう一つの側面は、「競馬情報」に関する相談であるということ。この情報があれば必ず儲かる「事前に着順が決まっているレースがあるの、情報料を支払えば着順を教える」などという勧誘をする業者の場合、後でトラブルに発展するケースが多いようです。

業者と連絡がとれなくなり：

このような「競馬情報」を販売する業者は、消費者や消費生活センターが連絡をとろうとしても、なかなか連絡がとれなかったり、連絡がとれても交渉に応じなかったりするケースが多

いっしょに伸びよう 高田っ子



「チョボラ」のすすめ

数か月前のこと、市内のあるコンビニエンスストアで遭遇したできごとです。3人の女子中学生が買い物をし、店から出ようとしたところに、白杖はくじょうを持った

視覚障がい者の男性が入ってこようとしていました。その時、彼女たちはドアの横に立ち、手動のドアを開けて、「ごうごう」と言って、その男性を先に

店に招き入れました。その男性は彼女たちに「ありがとう」

と言って、店内に入って行きました。彼女たちはその後、店の外に出ました。私も彼女たちの後に続いて店を出たわけですが、彼女たちは少し照れくさそうな表情で、

「なっ—なっ—私ら ええことしたんやな？」

と、言っていました。私はその時、

「そうやで ええことしたんやで」

と、心の中で声をかけ、店を後にしました。

数年ほど前から、テレビ等で「チョボラ」という言葉が使われるようになりました。「チョボラ」とは「ちよこつと ボランティア」の最初の文字を取って「チョボラ」といいます。簡単に言えば、自分にできるちよこつとしたボランティアのことです。「ボランティア」とは、もともと自発的な（自分の意志による）もので、誰からも強制されるものではありません。

りません。自分ができることをすればいいのです。

先ほど紹介した女子中学生たちは、彼女たちなりの「チョボラ」をしたわけです。しかし、「チョボラ」であってもかなりの勇気がいったことだと思えます。行った行為がちよこつとしたものでも、彼女たちにとっては、かなりの勇気がいった「ダイ（大）ボラ？」であったことでしょう。

「ボランティア」は、その大小に関係はありません。大きいからいいとか小さいからだめだとはいえないのです。「ボランティア」をすること自体に意味があるのです。

あなたができる「チョボラ」を、やってみませんか。

〔人権施策課〕



教えて！ 最新情報

地震に便乗する悪質商法

東日本での地震被害は、大変なものでした。

被災地の日も早い復興を願いたいね。消費生活に関して気をつけたいのは、地震災害に便乗した悪質商法だ。

地震災害に便乗するなんて、ひどい…。

役所の職員をかたって義援金を要求したり、「代金の一部を義援金にする」と電話勧誘をするなどの事例が、報告されているよ。

「被災地を支援したい」と思って、ついだまされてしまうのかもしれないですね。

そうだね。その気持ちを確実に被災地に届けるためにも、確かな団体かどうかをよく調べてから、募金などをするべきだ。

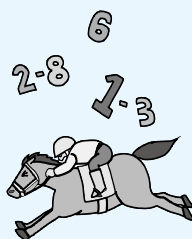
市役所や市内の公共施設でも、義援金を受け付けています！

甘い言葉にだまされないで

今回のように、業者と連絡がとれなくなってしまう場合、消費生活センターでの解決は困難です。そも

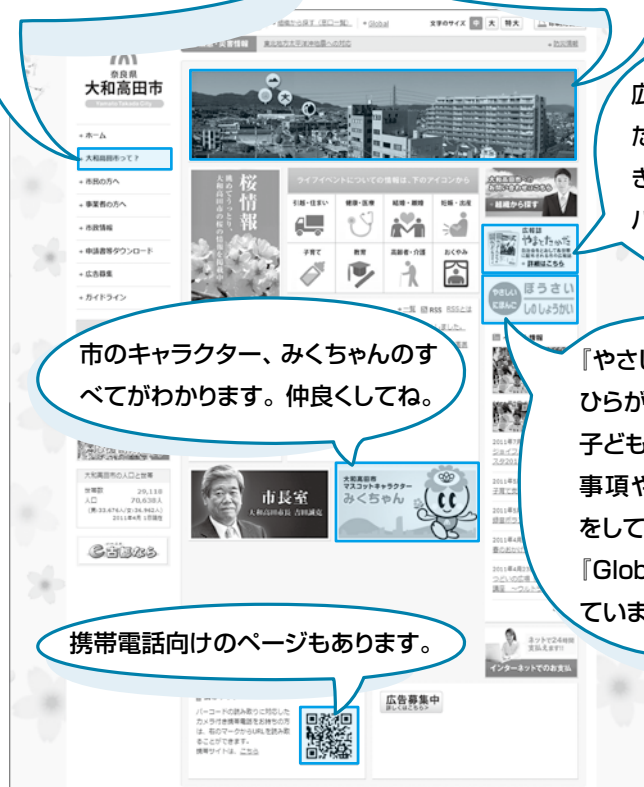
く見られます。今回も、解約・返金交渉をするために情報販売業者に連絡をとりましたが、何かと理屈を言っていて交渉を拒み、時には大声を出して言動をさえぎるなど、交渉は難航しました。結局、交渉の途中で業者と連絡がとれなくなり、返金を受けることは困難な状況となりました。

そも競馬とは不確定要素の大きいものであり、競馬情報を「必ず儲かる」などと言うこと自体、問題のある勧誘です。このような業者から返金される可能性は極めて低く、情報料も高額な場合が多いので、甘い言葉で勧誘する業者の話を安易に信用しないようにしましょう。



リニューアルしました！ 大和高田市ホームページ

4月1日、大和高田市ホームページをリニューアルしました。内容を充実し、それぞれの部署が、直接新しい情報を提供できる仕組みを、取り入れました。



『大和高田市って?』をクリックすると、大和高田市の歴史がわかります。『フォトライブラリ』から、あなたの大好きな大和高田市の風景写真を投稿してください。

大和高田市を360度ぐるっと眺めることができます。マークをクリックすると、みくちゃんが紹介してくれます。

広報誌「やまとたかだ」を読むことができます。バックナンバーもあります。

市のキャラクター、みくちゃんのすべてがわかります。仲良くしてね。

『やさしいにほんご』ひらがなを使い、外国の人や子ども向けに、災害時の注意事項や、大和高田市の紹介をしています。外国の人には、『Global』でも情報提供しています。

携帯電話向けのページもあります。

〔広報情報課 内線291〕

引き続き支給されます 子ども手当



子ども手当は、平成23年4月～9月までの6か月間、これまでと同じ月額1万3千円で、引き続き支給されます。

◎支給額 子ども1人につき月額1万3千円

◎支給対象となる子ども 0歳から中学校卒業まで（0歳から15歳になった後の最初の3月31日まで）

◎支給日 平成23年6月10日（平成23年2月分～5月分）、平成23年10月7日（平成23年6月分～9月分）

■次の人は、申請手続きが必要です。

●出生などにより、新たに養育する子どもができた人

●他の市町村から引っ越しした人

■次の人は、手続きの必要はありません。

●すでに受給していて、支給対象となる子どもの数に変更のない人

■平成23年6月の現況届の提出は、不要です。ただし、10月に届出・申請などが必要となる場合があります。

■平成23年10月以降の子どもの手当については、現在のところ未定です。

〔児童福祉課 内線567〕



工場の屋根でしょうか。波のようです。正面の、二上山が美しいです。
さて、ここは市内のどこでしょう。こたえは、後のページです。



交通事故のないやすらぎの大和路づくり ～大和の交通マナーを高めよう～

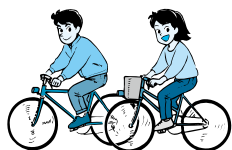
5月11日(水)～20日(金)

春の交通安全県民運動

子どもと高齢者の交通事故防止

■自転車の安全利用の推進

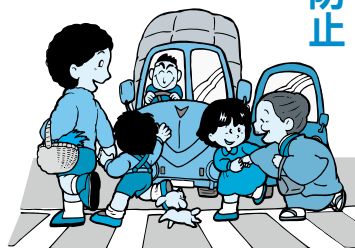
- ① 自転車は車道が原則
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で車道よりを走行
- ④ 安全ルールを守る
- ⑤ 子どもはヘルメットを着用



■全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底



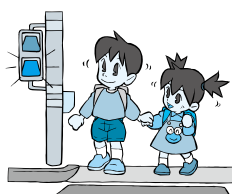
■飲酒運転の根絶



■正しい横断と横断歩行者の保護



正しい横断と横断歩行者の保護



〔生活安全課 内線321〕

5月のおはなし会

◎おはなし会

- ▷とき 5月14日(土) ごぜん10じ30ぶんから
▷たいしょう 4さいいじょうの子ども
●絵本 『王さまと九人のきょうだい』
●おはなし 『ついでにペロリ』

◎えほんとわらべうたの時間《きらら》

- ▷とき 5月28日(土) ごぜん10じ30ぶんから
▷たいしょう 3さいいかなの子ども
●絵本 『手品』
●おはなし 『にんじん だいこん ごぼう』
※ほかにもたのしいおはなしや、てあそびがあります。
※どちらも、としょかんの2かいでかいさいします。

〔市立図書館〕

☎52-3424 FAX 52-9415

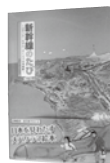
URL

<http://as.yamatotakadalib-unet.ocn.ne.jp>

BOOKサロン



今月の一冊



『新幹線のたび』

コマヤスカン作／講談社

「新青森」を
出発して「鹿児島」まで、新幹線だけを乗り継いで日本縦断の旅をする大パノラマ絵本です。

5月の新着図書

一般書

- 『いっしょに！おうちクッキング』
東京ガス「食」情報センター著／講談社
『最新芝生＆グラウンドカバー』
主婦の友社編／主婦の友社
『大人の流儀』
伊集院静著／講談社
☆ほかにも新着図書がいろいろあります。

児童書

- 『クレオパトラ女王（学習まんが人物館小学館版）』
近藤二郎監修、梶川卓郎絵／小学館
『お化け大図鑑』
近藤雅樹監修／PHP研究所
『よいこきらきらおりがみ12かげつ』
いまいみさ作／小学館

●旧暦「さつき」とは…

田植えをする月ということから「早苗月（さなへつき）」と言い、それが短くなつたものだそうです。そこで今回は、「田植え」に関する本をご紹介します。

『滅農薬のための田の虫図鑑―害虫・益虫・ただの虫―』
宇根豊（他）著

農山漁村文化協会
田んぼの中の害虫だけでなく、益虫（天敵）やただの虫、90種余りをカラー写真で紹介。田の中の生活図鑑は、発見と驚きがいっぱいです。
『おむすびさんのたづねのひ（かがくいひろし作）』

PHP研究所
のどかな田園風景に、おむすびさんとユニークな仲間がおこなう田植えが重なって、楽しくもあり、ほのぼのとする絵本です。

『びよびよの農業たんけん』
（日本農業新聞編、

谷本雄治文／小峰書店）
食べ物や畑など、農業上のさまざまな疑問についてわかりやすく解説した児童書です。